

経営比較分析表（令和3年度決算）

岡山県備前市 吉永病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	-	ト 透	救 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
32,667	5,550	第2種該当	-	10 : 1

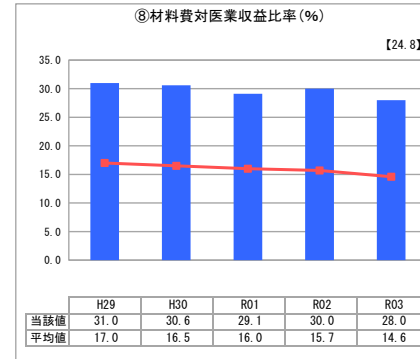
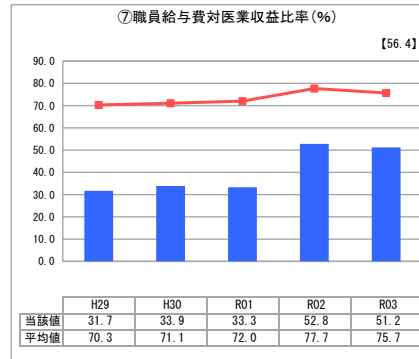
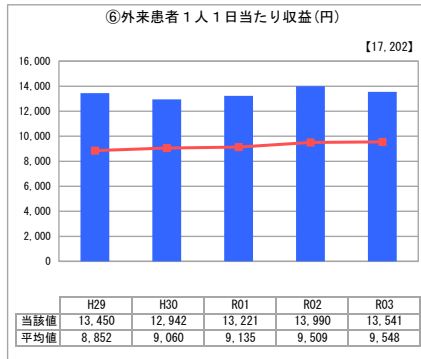
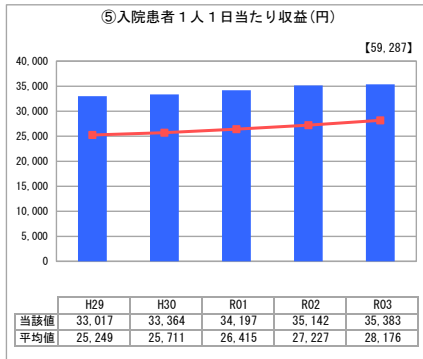
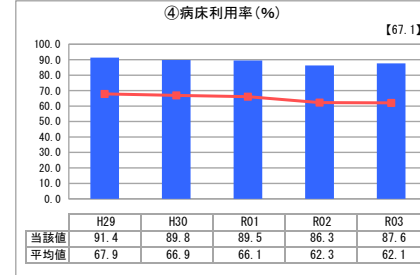
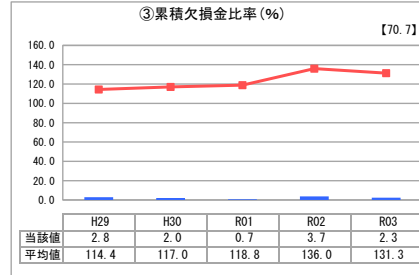
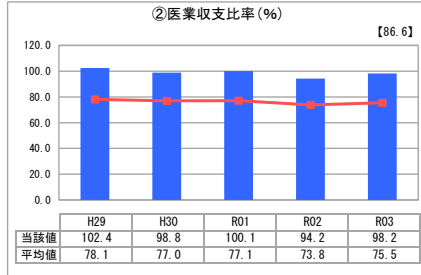
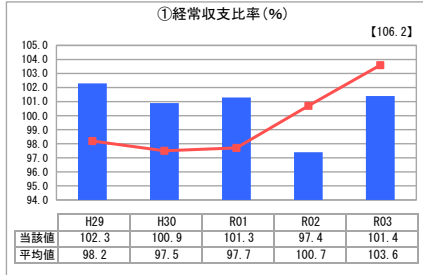
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

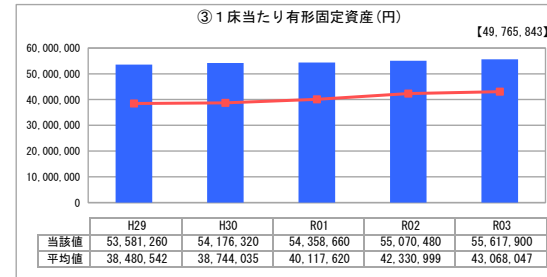
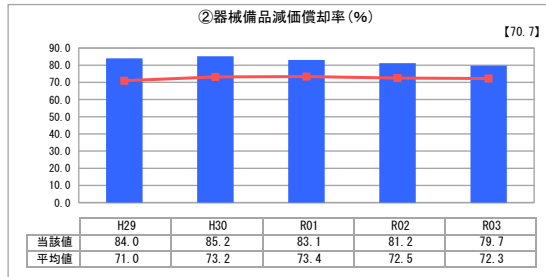
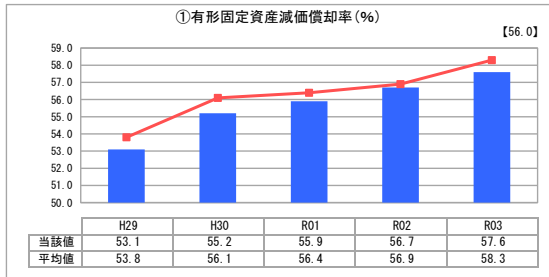
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
50	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	50
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
50	-	50

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
[]	令和3年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

土曜日診療や午後9時までの夜間受付など地域医療の中核の機能を担っている。
 具体的には、救急医療、へき地医療、小児医療、人工透析医療、在宅医療、各種健診事業、コロナ禍における発熱外来診療・検査体制確保事業、高度医療機器の設置、保健衛生活動、学校医活動など幅広い機能を提供している。
 また、総合保健施設を併設し、地域包括ケアの観点から、通所リハビリテーション事業、訪問リハビリテーション事業、訪問看護事業などの介護保険事業も展開している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い外来患者数は大幅に減っていたが、非常勤医師の充実など外来患者獲得に向けての取組等も行き、外来患者数・外来収益もコロナ前の水準に戻りつつある。しかし、動線の確保等の問題がありコロナ病床（入院患者受入）の設置ができなかったことで、コロナ病床を設置している病院に比べ補助金収入が少なく類似病院の平均値を下回る結果となった。②③④⑤⑥⑦の各指標は、健全な状態であり、前年度と比較すると②医業収支比率、④病床利用率、⑤（入院）の1人1日当たりの収益は前年度の値と向上し、③累積欠損金比率、⑦職員給与と費対医業収益比率も前年度より改善された。⑥（外来）の1人1日当たりの収益は前年度の値を下回る結果となったが、外来患者数、外来収益と前年度に比べ増となっている。
 ⑧材料費対医業収益比率は、類似病院平均値を下回っているが、当院は院内薬局での運用をしており、類似病院平均値は、院外薬局で運用している病院も含まれた数値であることから、特に問題はないと考える。
 ③累積欠損金比率は、施設の建替により発生した欠損金であり、安定的な黒字経営により早期に解消できると考えている。今後は少子高齢化がさらに進むと見込まれ、将来的に限られた医療資源を効果的に活用するため、地域の医療ニーズに応じて柔軟に病床を機能分化するなど、地域に密着した病院を目指した。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、施設が比較的新しいこともあり、類似病院平均値より若干低くなっている。
 ②器械備品減価償却率は、定期的な保守を実施し適切に使用できる状態を保持することで、法定耐用年数での更新を行っているいないため、類似病院平均値より高くなっている。
 ③1床当たり有形固定資産は、50床という小規模病院としては診療科が20科と多く、医療機器も充実していることが、類似病院平均値より高い要因であると考えられる。

全体総括

今後予想される人口減少などの問題に備え、ホームページの充実など広報活動にも注力し、選ばれた病院を目指す。市民の安心につながる救急医療についても24時間体制での受入を継続する。
 また、地域包括ケアの観点からは、平成30年3月に8床を地域包括ケア病床に機能分化したが、今後も状況に応じて、機能分化等を検討したい。また、総合保健施設を併設し、通所リハビリテーション事業、訪問リハビリテーション事業、訪問看護事業などの介護保険事業の維持に加え、地域における地域包括ケアシステムの中核として、地域内の他の診療施設や、周辺地域の急性期病院等と連携しながら地域完結型の医療を目指したい。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。